

# 平成 29 年度 島田市シルバー人材センター事業計画

## 1 はじめに

我が国は、65 歳以上の高齢者人口が 3,460 万人を超え、高齢者対策が大きな課題となる一方で、少子化の進展による人口減少社会が到来し、これに伴う生産人口の減少から労働力不足による経済活力の低下が懸念されています。政府は「1 億総活躍社会の実現」において、現役世代を支える分野での高齢者の就業促進に期待を寄せています。

こうした中でシルバー人材センターには、サービス業等の人手不足分野や、介護、育児などの現役世代を支える就業の促進のほか、派遣事業を推進し適正な就業形態への切り替えなど新たな課題への対応が求められています。当センターでは、シルバー事業に対する期待と役割を認識し、これまで以上に働く意欲のある高齢者が、年齢に関わりなくその能力や経験を活かして、生涯現役で生きがいを持ち活躍し続けることができるよう就労支援をします。

## 2 シルバー人材センターの現状と課題

### (1) 会員数について

65 歳以下の入会者は、企業の再雇用による実質的な定年延長で減少しています。また、セカンドライフの選択肢の多様化などからも入会希望者は伸び悩んでいます。加えて、高齢・病気などの理由で退会者が増加し、会員数は年々減少傾向となっています。全シ協では、会員の増強を推進していますがなかなか厳しい状況にあります。

### (2) 契約金額について

民間事業を主体とする当センターにとって、民間の経済・雇用環境が大きく影響しています。特に定年年齢の引き上げにより、これまでセンターに発注していた業務を、自社定年再任用者により賄う企業の増加や派遣事業の推進などによって、センター全体としての受注金額は減少傾向となっています。

### (3) 就業状況について

当センターの事業は、地域社会の理解と信頼に支えられ就業機会を得ています。その結果、現在は一定の就業率を維持できているものの、やはり定年制延長により就業先の確保は、減少傾向にあります。会員の高齢化なども踏まえ、会員の要望に対応できる就業先の確保も課題であります。また、国ではシルバー人材センターにおける適正就業ガイドラインを示し、請負と派遣就業の適正な確保を求めています。この就業形態への対応も課題であります。

### (4) センターの経営について

当センターは、人的な資源に基づく公益社団法人であり、特に基本財産が少ない法人です。公益法人への移行により法の規定に基づき収支均衡であることが求められ、センターの経営は、健全で安定した経営が強く求められています。経営の原資となるのは、基本的に発注者に負担していただく事務費と国・市からの補助金です。補助金については、前年度を上回る補助金額を得ることができ、昨年来続けてきた財政健全化対策の成果を受け、やっと収支均衡が図られる状況になりつつあります。

このような状況を踏まえつつ、今後も自主的な財源確保と支出の削減化を推進し、より健全な経営が求められています。

### 3 基本方針

- (1) 請負と派遣就業を明確にし、会員に適した就業機会の拡大と就業率の向上に努めます。
- (2) 就業に関する知識、技術及び技能向上のための講習会を実施します。
- (3) 就業情報等の収集と提供を推進します。
- (4) 安全就労の推進を図り、会員の安全確保に取り組みます。
- (5) 組織の合理化と運営体制・財政基盤の強化を図ります。
- (6) 社会奉仕作業などにより、会員と地域社会の絆を強め、地域貢献活動の推進を図ります。
- (7) センター事業について、行政との連携を密にし、センターが担う分野は積極的に対応するとともにシルバー制度の周知を図り、普及啓発活動を推進します。

### 4 事業実施計画

#### (1) 就業機会の確保・提供事業

家庭、企業、公共団体等に対して、請負と派遣就業を明確に区分し、会員の希望、知識及び経験に応じた就業機会の確保に努めます。

受託業務については、高齢者の特性である丁寧で質の良い就業を全ての就業先においても徹底し、発注先及び市民からの信頼を高めるように努めます。

また、高齢者の多様な働き方の選択肢を広めるため、「臨時的、短期的、または軽易な業務」の基本原則を守り、多様化するニーズに対しシルバー会員が、知識・経験を活かすことができるよう「高齢者活用・現役世代雇用サポート事業や地域就業機会創設・拡大事業」など国の補助事業を活用したスキルアップを目指します。

#### (2) 研修・講習事業

会員が、シルバー人材センター事業の理念等を理解し賛同すること。そして、就業に必要な知識や技能を習得することで、質の高いサービスの提供を実現するため、研修・講習事業の充実に努めます。

また外部団体等が実施する研修会にも職員を含め積極的に参加します。

予定する主な研修・講習事業の概要は、次のとおりです。

##### ① センター独自の研修事業

- ア 自動車安全運転講習
- イ 作業の安全研修
- ウ 介護・子育て支援講習

##### ② 県シ連の研修事業

- ア 新任役員研修
- イ 会員各種技能研修
- ウ 職員研修

#### (3) 調査研究事業

会員の就業率の向上、発注者に対するサービス内容の改善・拡充、さらには新たな就業機会の開拓のため、必要な情報の調査研究を行い、シルバー人材センター事業に資するものとしします。

具体的には、受託事業について発注者側に満足度や就業会員に関する評価をいただき、サービス改善とともに信頼関係の構築に努めます。

#### (4) 安全・適正就業推進事業

安全は、高齢者が就業等の活動を通じて社会参加をする上で最も重要な課題です。

会員の高齢化が進行している現状を踏まえ、高齢者が健康で安心して仕事に専念できるよう、安全・適正就業委員会を中心に積極的な取り組みを行ない、就業事故の撲滅を目指します。

- ① 就業現場の巡回指導をより強化し、特に重篤事故の防止に配慮しながら会員の安全就業の徹底に努めます。
- ② 安全就業、交通安全に関する技能向上研修会や講習会を開催します。
- ③ 真夏の熱中症対策など、会員の健康管理にも配慮します。

#### (5) 組織の合理化と財政運営

各事務所の地域性を活かしながら機能的な組織づくりを進めます。また、各地域のニーズを掘り起こし、より地域に密着したシルバー人材センターとなるよう努め、公益法人の特性に配慮した事業運営に努めます。

##### ① 事務所体制

現在三事務所で運営をしているが、適正な職員配置と人材育成を推進し、効率的な事務所体制の構築を目指します。

##### ② 役員との連携強化

シルバー人材センターの在り方について原点に戻り、中・長期的な視点から職員と一体となった運営の検討を進めます。

##### ③ 財政運営

適切な財政運営を進めるには、安定的な収入と支出のバランスが必要であります。近年の収支がマイナスとなる厳しい決算状況を踏まえ、経費節減に努めるとともに、効率的・効果的な事業運営に努めます。

#### (6) 社会奉仕作業

センター事業は、就業や社会奉仕活動を通じて、地域への社会貢献を進めながら、地域から信頼されるセンターを目指します。また、個々の会員がセンター会員としての意識を高め、より地域社会に貢献できるよう努めます。

#### (7) 普及啓発事業

- ① 行政との連携を密にし、高齢化社会に向けてのシルバー人材センターの役割や社会的意義を広く情報発信します。また、社会参加を希望する高齢者に対しては、シルバー人材センターの説明会を開催するなど入会の促進を図り、就業機会開拓の一助とします。
- ② 会員の丁寧な仕事ぶりを通じて地域の住民や事業所等の信頼を確保し、シルバー人材センター事業への協力と支援の拡大を図ります。
- ③ 機関紙「シルバー島田」の発行、県シ連発行のパンフレット・チラシ等の配布などにより、より多くの市民に周知し、新入会員と受託事業の増加に努めます。さらに、ホームページをより分かりやすく気軽にアクセスできるよう整備し、市民に活

動状況、就業状況等を情報提供できるよう努めて参ります。